

# ◆地方債・町有財産状況

## ■地方債年度末現在高

〔一般会計〕

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度末残高	構成比
一般公共事業債	915,333	7.2
公営住宅建設事業債	3,683,340	29.0
災害復旧事業債	143,441	1.1
教育・福祉施設等整備事業債	200,967	1.6
一般単独事業債	2,267,307	17.9
過疎対策事業債	2,528,299	19.9
厚生福祉施設整備事業債	50,376	0.4
減税補てん債	181,166	1.4
臨時財政対策債	2,526,784	19.9
道貸付金	105,464	0.8
その他	96,107	0.8
合 計	12,698,584	100.0

〔公共下水道事業特別会計〕

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度末残高	構成比
下水道事業債	3,403,124	70.0
資本費平準化債	1,447,557	29.8
災害復旧事業債	9,103	0.2
合 計	4,859,784	100.0

〔水道事業会計〕

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度末残高	構成比
水道事業債	845,376	92.3
災害復旧事業債	70,602	7.7
合 計	915,978	100.0



〔簡易水道事業特別会計〕

(単位:千円、%)

区 分	平成22年度末残高	構成比
簡易水道整備事業債	677,976	100.0
合 計	677,976	100.0

## ■町有財産の状況

(単位:千円、㎡)

区 分	金 額	面 積	
土 地	公の施設	2,283,137	
	宅 地	22,159	
	山 林	2,332,603	
	保 安 林	5,485,741	
	原 野	660,604	
	雑 種 地	187,496	
	そ の 他 (農地等の地目)	119,262	
	合 計	11,019,872	
	建 物	建 物	153,546
		有 価 証 券	69,053
出 資 金		32,190	
基 金		2,478,576	

※基金のうち歳入不足の補てんのために使用することができる基金の残高は、総額で9億1738万7千円であり、内訳は、財政調整基金7億3905万7千円、減債基金1億263万1千円、備荒資金組合積立金のうち超過納付分の7569万9千円であります。

## ■町の財政指標

たとえば

●**経常収支比率は90.1% (前年度比7.6%減)** **給料だけで何とか賄えた生活費**  
 経常収支比率は市町村の財政構造の弾力性を判断する指標で、その市町村が毎年度決まって支出する経費に、毎年度決まって入ってくる歳入がどれくらい含まれているかを示すものです。サラリーマン家庭に例えると、月給に占める、食費・住居費・教育費・住宅ローンなど毎月必ず支払うべき支出の割合です。この指標が100%以内に収まっているということは、毎月の給料で生活費等の支払いをすることができたことを示しています。数値が100%を若干切った状態にあることから、新たに何かをしようとする場合のお金は、貯金を取り崩すか新たな借金をしなければ支出できませんが、当町においては合併以前から旧町村においてこの状態が続いており、この改善が急務の課題でした。

たとえば

●**実質公債費比率は25.5% (前年度比2.8%減)** **毎月のローンが月収の約3割**  
 実質公債費比率は、自治体財政の健全化度をはかる指標として平成18年度から新たに導入されました。自治体の収入に対する借金返済額の割合を示す比率です。当町の実質公債費比率は25.5%で、道内179市町村のうち、夕張市に次ぎ2番目に悪い結果となっています(全道市町村平均は12.8%)。数値が高くなった原因として過去の災害復旧事業などに要する借入れが大きく影響しています。この比率は新たな借入れを今後抑制することで減少していきます。